

- 問1 Fig.1では、大学生生活満足度には有意な交互作用が認められていた。「交互作用」という用語の意味が分かるように、Fig.1に示されている結果について説明しなさい。
- 問2 分析の結果、仮説は支持されたものとして、この研究の目的、仮説、及び何故そのような仮説が導かれたかについて推測し、述べなさい。
- 問3 この研究の独立変数、従属変数はそれぞれ何か、述べなさい。その際、「水準」という用語を必ず使用すること。
- 問4 この研究に関する次の文章のうち、正しいものに○、間違っているものに×をつけなさい。
- このようなデザインを、被験者間計画という。()
 - このようなデザインを、混合計画という。()
 - 交互作用が認められているため、多重比較の検定を行う必要がある。()

第4問 臨床心理に関わる以下の人物に関して、各人物の著書および最も関係する項目をそれぞれ一つずつ選択して適切な組み合わせを構成しなさい。

- | | | | | |
|------------------|---------------------|---------------------|-----------------|----------------------------|
| 1. Reich, W. | 2. Jung, C. G. | 3. Winnicott, D. W. | 4. Freud, S. | 5. Kanner, L. |
| 6. Mahler, M. S. | 7. Kübler-Ross, E. | 8. Rank, O. | 9. Minuchin, S. | 10. Axline, V. M. |
| 11. Schopler, E. | 12. Erickson, M. H. | 13. Bowlby, J. | 14. Kalf, D. M. | 15. Beck, A. T., Reich, W. |

著書

- | | | |
|--------------------|------------------|----------------|
| a. 「情緒発達の精神分析理論」 | b. 「エンカウンターグループ」 | c. 「箱庭療法」 |
| d. 「性と文化の革命」 | e. 「英雄誕生の神話」 | f. 「自我と無意識の関係」 |
| g. 「認知療法」 | h. 「乳幼児の心理的誕生」 | i. 「家族と家族療法」 |
| j. 「夢判断」 | k. 「幼児自閉症の研究」 | l. 「母子関係入門」 |
| m. 「死ぬ瞬間」 | n. 「遊戯療法」 | o. 「行動学入門」 |
| p. 「自閉症の治療療育プログラム」 | q. 「戦略的心理療法」 | |

関連する項目

- | | | | | |
|------------------------------------|-------------|-----------|--------------|------------|
| あ. 愛着理論 | い. 隠蔽記憶 | う. 移行対象 | え. 危機介入 | お. 出産外傷 |
| か. 構造的家族療法 | き. 性格の錯 | く. 世界技法 | け. ブリーフ・セラピー | こ. 受容的態度 |
| さ. ターミナルケア | し. 幼児自閉性精神病 | す. 集合的無意識 | せ. 素朴理論 | そ. 幼児共生精神病 |
| た. PEP (Psychoeducational Profile) | ち. 自動思考 | | | |

第5問 次の事例を読み、以下の問いに答えなさい。

高校1年生のA子は、両親と妹の4人家族です。幼少期から良い子で、おとなしく育てやすい子どもでした。小中学校では成績はトップクラスで、几帳面で真面目に勉強や課外活動をし、「頭が良く、礼儀正しく、申し分のない子」というのが彼女に対する大人の評価でした。母親は愛情をかけて育てると言うタイプではなく、厳しくしつけて育てていました。

中学3年生の時、友達から「食べないでやせている方が頭が働く」と言われたことがきっかけで3学期からダイエットを始めました。いわゆる進学校と言われる高校に入学した後も米飯、肉類、油物は全く食べず、低カロリーの食物ばかりを選んで食べるようになりました。深夜2時頃まで勉強し、早朝に起床し、朝夕数百回の縄跳びを欠かさずに行いました。両親がもっと食事を増やすようにと言うと、今までのA子では考えられないほどの剣幕で言い返し、泣き叫ぶという行動も見られるようになりました。体重減少が著しくなり、両親が無理矢理受診させました。初診時、A子の身長は155cm、体重30kgで、無月経になっていました。受診した医師が「とてもやせていますね」と話しかけるとA子は「やせていないし、太るのは嫌。私は勉強もしているし、高校にもちゃんと通学している。身体も疲れないし、病気ではない。」と厳しい表情で言いました。

- 問1 A子の状態は、どのような状態(いわゆる診断名)と言えますか。
- 問2 A子の状態の要因としてどのようなことが考えられますか。
- 問3 A子の状態を改善するためには、どのような心理療法が適当ですか。心理療法の名前とその方法について説明しなさい。
- 問4 あなたが心理士だとしたら、事例の最後のA子の言葉にどのように応答しますか。その理由も説明しなさい。